

# 市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS



◆発行◆  
514-0009  
津市羽所町700番地  
アスト津3階  
みえ市民活動ボランティアセンター  
Tel.059-222-5981  
Fax.059-222-5971  
E-mail seiknpo@pref.mie.jp  
NPO室のホームページ  
<http://www1.mienpo.net/npot>  
三重県のホームページ  
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは  
こちらにあります！

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／分部食堂／(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市●桑名市市民活動支援センター ●四日市市●四日市市市民活動センター／寺子屋プロジェクト／みえチャレンジプラザ ●亀山市●亀山市市民協働センター ●鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう ●松阪市●三重中央大学／松阪市市民活動センター ●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／いせ市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●名張市●名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリゾート赤目の森／名張市市民活動支援センター／くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウィリアム・テルズアップル まちづくりセンター／伊賀市中央公民館／伊賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター ●明和町●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町町民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／第三銀行各店／メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／三重県栄町庁舎(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／斎宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレンドみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町役場

## 子どもの心を受け止める子ども専用電話チャイルドライン24 ～受け手養成のための講習会～(平成19年度)

指示しない、指導しない、かけ手の心に寄り添い耳を傾け、かけ手の主体性を大切にしたい電話です。あなたも講習会に参加し、ボランティアとして受け手をしてみませんか？受け手を希望される方は、指示しない指導しないでひたすら子どもの心を受け止め傾聴するチャイルドライン24の趣旨に賛同される方とします。原則として全単位履修が条件です。参加できなかった場合、補習受講やレポート提出などをしていただきます。受け手になれるのは15歳(高校生世代以上)からです。

10月7日(日)	10:00~12:00	「チャイルドラインとは」 「チャイルドライン24」実施組織 代表理事 田部真樹子氏
	13:00~15:00	「いじめ・不登校 子どもの心聴く」 心理カウンセラー 内田良子氏
10月14日(日)	10:00~12:00	「子ども虐待」 知的障害者更生相談所 主幹 井上良純氏
	13:00~15:00	「子どもの権利条約」 早稲田大学文学部 教授 喜多明人氏
10月28日(日)	10:00~12:00	「エンパワメント 講演」 エンパワメント・センター 主宰 森田ゆり氏
	13:00~15:00	「エンパワメント ワークショップ」 エンパワメント・センター 主宰 森田ゆり氏
11月3日(土)	13:00~15:30	公開講座 「子ども虐待～子どもの権利 子どもの人権～」 山梨県立大学人間福祉学部 教授 西澤 哲氏
11月4日(日)	10:00~12:00	「私の依存 ～依存症からみえる本当の問題～」 (特)三重ダルク 市川岳仁氏
	13:00~16:00	「性と自立」 性教育・人権教育ネットワーク「地域と家庭と学校と」代表 竹内未希代氏
11月11日(日)	10:00~12:00	「エンパワメント 子どもを信じて」 エンパワメントみえ 代表 志治優美氏
	13:00~15:00	「思春期外来」 奈良県立医科大学 教授 飯田順三氏
12月16日(日)	10:00~12:00	「聴くこと」 南山大学 教授 山口真人氏
	13:00~16:00	「ロールプレイ」 南山大学 教授 山口真人氏

●ところ／三重県津総合庁舎大会議室、10月7日のみアスト津アストホール

●参加費／大人10,000円(定員60人)、ユース(12歳～25歳まで)5,000円(定員40人)  
1プログラムのみ2,000円(その他、公開講座には別途料金が必要です。詳細はお問い合わせを)

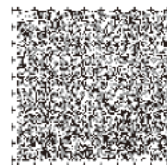
●主催・申込・問い合わせ先／514-0125 津市大里窪田町2709-1

MIEチャイルドラインセンター内 「チャイルドライン24」実施組織

Tel.&Fax.059-211-0024 E-mail jisshi@childline24.net

### SPコード

右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。  
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。



この10月20日(土)に「みえボランティアフェスティバル2007」が開催されます。開催場所は名張市にあります皇學館大学名張校舎で、なんと大学祭の「第10回皇名祭『なバリ愛フリー2007』』とのコラボレーションとなります。(県内初!)どんなことをするのか具体的な内容については本紙の「イベントスケジュール」で案内させていただきます。

このフェスティバルに参加することで、ボランティア活動をしている人々にとっては、実はなかなか知り得る機会のない県内の他団体の活動の様子を知ってもらい、さらには新たな交流のきっかけになるのではないかと思いますし、また、「ボランティア」になんとなく関心があるけれど...と思っている人々にとっては、実際はどんなことをしているのか、一度にいろいろな団体の様子を聞くことができる絶好の機会になると思います。

そして、それらと併せて大学祭との同時開催というのはやはり大きな魅力ではないでしょうか。私は、このフェスティバルで、はるか彼方の記憶となってしまった学生時代の自分を思い出しながら、いまの学生の様子を知ることを楽しみとしていた。



## みなさんへのお知らせ

### 特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は2団体ありました。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室に備え置いてあります。

#### ●認証申請団体

(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地

【1】(1)コスモス(2)橋本保則(3)鈴鹿市国府町2261番地の3

【2】(1)松阪市手をつなぐ育成会(2)瀬田正子(3)松阪市久保町字新屋1668番地3  
(平成19年8月10日~平成19年9月9日申請分)

#### ●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

伊賀ネットワーク(平成19年8月27日)/みえケア・マネジメント協会(平成19年4月12日)/よっかいち若者未来塾(平成19年7月30日)/鈴鹿市体育協会(平成19年8月2日)/大樹(平成19年8月7日)/大杉谷自然学校(平成19年8月14日)/ピアサポートみえ(平成19年8月23日)  
(平成19年8月10日~平成19年9月9日届出分)

## イベントスケジュール



### 【四日市まんなか子ども劇場】

#### 月に1度の絵本のひろばとヘルシーランチ

●とき/10月2日(火)11:00 絵本のひろば11:30

●ところ/四日市まんなか子ども劇場みんなの居場所「きらり」

●参加費/ランチ900円、利用料300円(会員無料)

●内容/読み聞かせグループ(すのう ほわいと)による絵本のひろばと、野菜中心料理「野恵都」のランチが子連れで食べられます。

### 総合劇集団俳優館「ほくらはみんな生きている」

●とき/10月13日(土) ●参加費/当日3500円

●ところ/四日市勤労者総合福祉センター

●内容/感性を育む生の舞台を親子で観賞します。

### 親子で公園遊び

●とき/10月30日(火)10:30

●ところ/海山道神社(現地集合解散)

●参加費/300円(会員無料)

●内容/おひさまの下で遊び、お弁当を食べて絵本を読みます。事前申込みが必要です。

●申込・問い合わせ先/四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.059-351-6670



### 津ドイツ語会話教室

●とき/10月5日~12月14日(毎週金曜)

18:45~20:30(全10回、11月23日休講)

●ところ/アスト津4階 橋北公民館研修室C

(津市羽所町700番地 Tel.059-222-2525)

●内容/三重大学ドイツ人留学生のカタリーナ・ビスクプさんを講

師に迎えて、ドイツ語会話を学びます。毎回前半はNHKテレビ講座のテキストにそった入門編、後半は会話の練習(フリートーキング)。

●申込・問い合わせ先/向井明子 Tel.059-232-0594

●主催/三重日独協会



### 【子育て広場・ドロップin】

#### あそぼうかい かるがもくらぶ

●とき/10月5・12・19・26日(すべて金)

10:30~12:00 ●ところ/子育て広場・ドロップinの事務所

●参加費/一般300円、会員無料

●内容/毎週金曜日、子どもたちを遊ばせながら、ママたちはのんびりおしゃべり!初めての方大歓迎!!

### 日本子ども虐待防止学会

第13回学術集會みえ大会市民実行委員会 市民プログラム

#### 小学生のための自己尊重トレーニング

●とき/10月21日(日)13:00~16:00

●ところ/あさけプラザ 4・5会議室

●参加費/一般3000円、会員2500円(会員)

●内容/自分をほめてみよう!自分のいのち、自分の存在を大切に思うことは生きていく力につながります。講師は(特)自己尊重プラクティス協会代表理事、手塚千砂子さん。

●持ち物/ノート・えんぴつ・バスタオル・お茶、ズボン・運動しやすい服装

#### いのちの声を聴く自己尊重トレーニング

●とき/10月22日(月)10:00~13:00

●ところ/富田地区市民センター2階ホール

●参加費/一般3000円、会員2500円、託児(一人)1000円

●内容/一人ひとりが持っているプラス面に目を向ける「ラブライフ・トレーニング」と体の感覚に集中し、心身を癒す「フィーリング・トレーニング」を組み合わせて自分を肯定する体と心の響きを味わいます。講師は手塚千砂子さんです。

●持ち物/ノート・筆記用具・バスタオル、ズボン・運動しやすい服装

●問い合わせ先/四日市市富田1丁目8-11

子育て広場・ドロップin Tel.&Fax.059-363-3728

E-mail smile\_dropin@yahoo.co.jp

ホームページ [http://www.geocities.jp/smile\\_dropin](http://www.geocities.jp/smile_dropin)

### デートDV防止プログラム研修会

~知っていますか?デートDV~

●とき/10月12日(金)13:30~15:30

●ところ/三重県伊賀庁舎7階大会議室(伊賀市四十九町2802)

●内容/デートDVとは交際相手に対して行われるDVのことです。DV(被害者・加害者)やその親への対応は難しく、関わる人がDVについて深く理解していることが必要です。気がついていない子どもたちにデートDVとは何か、DVは犯罪・人権侵害であり、関係を破綻

させるだけであること、相手を深く傷つける行為であること、暴力をふるう側も苦しむことを伝えたいと思います。講師はNGOアウェア認定ファシリテーターの中村史子さんと佐藤ゆかりさんです。

●応募締切/10月5日(金)  
●申込・問い合わせ先/三重県伊賀県民センター 総務・生活室生活課 Tel.0595-24-8137 Fax.0595-24-8010  
E-mail gkenmin@pref.mie.jp  
ホームページ <http://www.pref.mie.jp/GKENMIN/HP/>

### 障害者カラオケのど自慢大会

●とき/10月14日(日)11:00~15:00頃  
●ところ/ロワジュールホテル・ベネチアホール5階(近鉄四日市駅から徒歩3分) ●応募締切/9月30日(日)  
●参加費/障害者・介護者共1000円  
●内容/障害の種別に関係なく、大好きなカラオケを「スポットライト」の当たるステージで思う存分歌い、たくさんの仲間と交流し、楽しい一日を過ごしましょう。  
●問い合わせ先/特定非営利活動法人 障害者支援グループピラミッド Tel.&Fax.059-365-1682

### DVと医療 DVが女性と子どもにあたえる影響

●とき/10月18日(木)13:30~16:30  
●ところ/三重県生涯学習センター中研修室(4階)  
●内容/DVを考える時に取り残されてしまいがちな子どもたち。しかし、成長過程にある子どもたちが心身に受ける影響は想像以上に大きなものです。保健医療の現場でDVを少しでも早く発見することができたなら、解決や再生に向かうことも可能であろう家庭が少なくありません。DVに関わるあらゆる人たちの早期発見への理解がもっと深まれば、DVをかかえる女性や子どもたちにもっと早く手当てができるのではないのでしょうか。当日は甲南女子大学看護学科教授の友田尋子さんの講演とシンポジウムを開催します。  
●募集人数/70人 ●応募締切/9月30日(日)  
●主催・申込・問い合わせ先/DVヘルプラインMIE Tel.090-9223-3351 Fax.0595-21-8991  
E-mail dvhelplinemie@yahoo.co.jp

### 青春キネマ館「羅生門」

●とき/10月19日(金)11:00・13:00・19:30、20日(土)17:30、21日(日)19:30  
●ところ/伊勢進富座 ●申込方法/電話予約可能。  
●参加費/一般 前売1000円、当日1200円 高校生以下前売・当日共500円  
●内容/ヴェネチア国際映画祭グランプリを受賞した黒澤明の出世作。貴族の女性と供回りの侍が山賊に襲われた。事件は検非違使によって吟味される事になったが、それぞれの意見は対立し…。  
●主催・申込・問い合わせ先/青春キネマ館&キッズシアター上映

実行委員会 Tel.0596-23-0839

### みえボランティアフェスティバル2007

●とき/10月20日(土)10:00~16:15  
●ところ/皇學館大学 名張キャンパス  
●内容/三重県初!大学祭とのコラボレーション。当日はみえボランティア大賞コンテスト、防災フォーラム、大阪ボランティア協会理事長である岡本榮一さんによる記念講演「ボランティアがつなぐ“なぎさのコミュニティ”と、パネルディスカッション「ボランタリズムが築く住民自治と地域福祉」などを開催。ボランティア広場“よってだ〜こみてだ〜こ”では三重県内に活動拠点を持つボランティアグループ・市民活動団体などが活動紹介を行います。パネル展示、焼き菓子販売、凧作り教室・凧販売や石けん、ぼかしの発酵液づくり、その他手作りの小物販売など盛りだくさんの内容です。  
●問い合わせ先/社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 Tel.059-227-5145 Fax.059-227-6618  
E-mail mvc@miewel.or.jp  
ホームページ <http://www.miewel.or.jp>

### 乳がん体験者の会あけぼの会三重支部 第2回講演会「乳がんについて学ぼう」

●とき/10月21日(日)受付12:00 13:00~15:50  
●ところ/いせシティプラザ2階ホール(伊勢市岩淵1丁目外宮前)  
●参加費/500円 高校生は無料  
●内容/10月は乳がん月間、10月1日は乳がん検診の日です。13時から三重大学医学部准教授の小川朋子先生と、愛知県立看護大学教授の平井正文先生の講演を行い、14時40分から小川先生を囲んでのディスカッションを行います。リンパ浮腫に悩んでいる方は人数限定ですが、平井先生の個人相談も行います。このほか、医療用下着パットの展示もあります。  
●募集人数/申込順100人 ●応募締切/10月18日(木)  
●申込・問い合わせ先/小野節子Tel.&Fax.0596-25-3426 浦 久子 Tel.059-256-4415  
●主催/あけぼの会三重支部

### 国際理解講座 「今、なぜアフリカなのかーその歴史と現在」

●とき/10月21日(日)13:30~16:00  
●ところ/伊勢商工会議所4階中ホール(駐車場有)  
●参加費/伊勢市国際交流協会会員無料、非会員300円  
●内容/貧困、飢餓、砂漠化、民族紛争、たくさんの深刻な問題をかかえるアフリカ。そこにも人々が躍動する息吹があります。アフリカと日本との関わりの中で、共に希望を持てる世界をつくるために、私たちに何ができるのでしょうか。日本からアフリカを見るまなざしは、「先進国」側からの誤解や固定したイメージに曇らされているかもしれません。アフリカを真に理解するために、いちばん基礎となる



これから市民活動・ボランティア活動を始めたという方、始めたばかりという方の疑問などにお答えします。

### 団体のPRに無料のホームページを活用しませんか

会員同士の連絡に、無料のメールアドレスやメーリングリストを活用しているところはたくさんあるのではないかと思います。

それではインターネットのホームページはどうでしょうか?

最近ニフティが始めたサービスに、地域活動支援コミュニティ(<http://chiiki.nifty.com/>)があります。これはニフティと契約したユーザーだけでなく、地域の団体が簡単な登録だけで無料でホームページが持てるものです。

県内のNPO法人ではホームページを持っているところは半分以上で、積極的に情報が更新されているところは更に少ないのが現状のようです。

お金のない団体でも、インターネットの無料のサービスなら活用できる場所が多いのではないのでしょうか。 三重県生活部NPO室 堀木俊哉

知識・情報を知ること、そしてそこに生きる人々を知ることから始めましょう。講師は明治学院大学国際学部教授、勝俣 誠さんです。

- 募集人数/60人 ●申込方法/要事前申込。
- 申込・問い合わせ先/伊勢市国際交流協会事務局  
Tel.0596-21-5549 Fax.0596-21-5522  
E-mail kouryu@city.ise.mie.jp

## 第10回 志摩半島野生動物シンポジウム ～里海の生きものたちは今～

- とき/10月27日(土) 10:00～17:30  
(交流会 18:45～20:45)
- ところ/中川コミュニティセンター  
(松阪市、近鉄伊勢中川駅から徒歩5分)
- 参加費/500円 高校生以下無料  
交流会(要申込)4000円(宿泊の場合、プラス3500円)
- 内容/私たちの身近な海「里海」の自然環境は、その多様性や美しさを日増しに失いつつあります。里海の自然や野生生物の現状に今一度目を向け、その大切さやこれからの保全活動について考えます。里海に関心をお持ちの方ならどなたでも参加できます。
- 申込・問い合わせ先/若林郁夫 Tel.090-8957-9288  
E-mail ikuowaka@e-net.or.jp
- 主催/志摩半島野生動物研究会、三重大学 ウミガメ・スナメリ調査・保全サークル「かめっぷり」

## インターネット安全教室

- とき/10月28日(日) 13:30～15:30
- ところ/桑名市大山田コミュニティプラザ
- 参加費/無料 ●募集人数/100人
- 内容/対象は家庭や学校からインターネットにアクセスする方やネットワーク・セキュリティ啓発にかかわる方です。
- 申込・問い合わせ先/桑名市ボランティアセンター(桑名市社会福祉協議会)くわなPCネット『インターネット安全教室』係  
Fax.0594-23-5079  
E-mail kshakyo@jasmine.ocn.ne.jp

## NPO活動推進自治体フォーラム佐賀大会

- とき・ところ/11月1日(土)分科会 佐賀県内6会場  
2日(日)全体会 佐賀市文化会館
- 参加費/分科会3000円(資料代など)全体会無料
- 内容/テーマは『「新しい公共」を考える』。NPO、企業からの参加も募集しています。詳細な情報は佐賀県ホームページ(<http://www.pref.saga.lg.jp/>)をご覧ください。
- 応募締切/10月10日(水)
- 問い合わせ先/三重県生活部NPO室  
Tel.059-222-5981  
Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

## 木と水の環境を考えよう 第2弾

- とき/11月4日(日)受付9:30～
- ところ/玉城町 吉兆窯 ●募集人数/先着20人
- 参加費/1500円(昼食、保険、資料代含む)
- 内容/内宮の摂社・末社を訪ねて秋の自然を感じた後は、昼食とおしゃべりを楽しみましょう。昼食はむかごご飯と野の花亭のバイキング料理+秋の味覚です。
- 主催・申込・問い合わせ先/めいわ市民活動サポートセンター  
Tel.0596-52-7129 Fax.0596-52-7739

## 文化カシンポジウム

「今こそ文化力の時だーなぜ、文化力なのか」

＝政治が置き忘れた地方の心＝

- とき/11月11日(日) 13:00～16:00
- ところ/四日市都ホテル4階伊勢の間(四日市市安島一丁目)
- 参加費/無料(要事前予約)
- 内容/政治評論家の森田実さんの基調講演とパネルディスカッション(千葉大学法経学部長新藤宗幸さん、北海道大学大学院教授山口二郎さん、ジャーナリスト龍野建一さんほか)を行います。
- 募集人数/300人程度 ●応募締切/11月2日(金)必着
- 問い合わせ先/三重県政策部企画室  
Tel.059-224-2062 E-mail kikakuk@pref.mie.jp

## 第9回古道まつり

- とき/11月18日(日) 9:00～15:00
- ところ/水池遺跡公園(明和町明星)
- 内容/歴史を感じながら、古道を歩く古道ハイキングのほか、人々の出会い、ふれあいの場となる会場では齋王ミニ群行やいつきの舞、琴演奏、明和太鼓、バザー、フリーマーケットなども催します。
- 主催・問い合わせ先/齋王参向古道まつり実行委員会  
(代表:村山俊一) Tel.0596-52-7078

## ネットワークのよびかけ

### 中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか?～  
中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合っ、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会もしています。気軽に参加してください。

- 【協働勉強会】
- とき/10月9日(火) 13:30～16:30
- ところ/みえ県民交流センター交流スペース
- 【交流会】
- とき/11月6日(火) 13:00～16:00
- ところ/みえ県民交流センター交流スペース
- 参加費/勉強会、交流会ともに無料
- 問い合わせ先/W. T. Aまちづくりセンター  
Tel.0595-24-7612

## キャンプカウンセラー募集

県立鈴鹿青少年センターが主催するキャンプの参加者をサポートするスタッフを募集しています。キャンプの予定は以下の通り。場所は県立鈴鹿青少年センター及びその周辺。参加費は不要です。

- 【ファミリーキャンプ】
- とき/10月13日(土)～14日(日) 1泊2日  
小学生とその家族の約40人を対象に、自然観察やクラフト、野外炊飯、キャンプファイヤー等を行います。
- 【ウィンターアドベンチャー】
- とき/12月1日(土)～2日(日) 1泊2日  
小5～中2の約36人を対象に、冬の森の観察やクラフト、野外炊飯、キャンドルサービス等を行います。
- 問い合わせ先/三重県立鈴鹿青少年センター 鈴鹿市住吉町南谷口 Tel.059-378-9811 Fax.059-378-9809  
ホームページ <http://www.mie-sports.or.jp/suzukayc/>

## コイの放流制限について

コイについては、現在コイヘルペスウイルス病という病気が全国的に発生しており、これまで三重県内でもいくつかの河川や池等で発生しています。この病気は人体にはまったく影響はありませんが、水を介して伝染するため、放流したコイがウイルスに感染していると、

その河川に生息するコイに伝染しコイの大量死を招く恐れもあります。このため、ウイルス検査で陰性となったコイ群以外の放流はできないこととしています。ご不明な点は、下記までご相談を。

●問い合わせ先／三重県内水面漁場管理委員会事務局  
Tel.059-224-3036  
三重県農水商工部水産室 Tel.059-224-2588

## 環境学修指導者養成実践講座 ファシリテーター養成コース

自然界や地域社会のつながりに気づき、人や自然を思いやる感性や想像力を育み、新しい豊かなつながりを築いていける環境学習指導者を育成します。対象は三重県環境学習情報センター主催の「みえ環境学修セミナー」や「インテリブリーダー養成講座」などの指導者養成講座を修了された方、または同等(自然観察指導員・環境カウンセラー等)の知識を有する方、教員、三重県内の個人や団体などで環境保全活動に携わっている方で全3回の講座に出席できる見込みの方。講師は特定非営利活動法人NIED国際理解教育センターの茅谷千恵子さんです。

- とき／11月4・11・18日(日)9:30～16:30(全3回)
- ところ／四日市市なやプラザ第2会議室(四日市市蔵町4-17)
- 参加費／無料 ●募集人数／20人(応募者多数の場合抽選)
- 応募締切／10月21日(日)
- 申込方法／申込書を郵送、Fax、E-mailのいずれかで下記へ。申込書はホームページからも入手可能。
- 申込・問い合わせ先／512-1211 四日市市桜町3690-1 三重県環境学習情報センター(担当:水谷、木村)  
Tel.059-329-2000 Fax.059-329-2909  
E-mail eco@pref.mie.jp  
ホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/forum/center/event/kouza/h19/fa>

## キリン福祉財団

- 受付締切／11月12日(月)消印有効
- 助成の対象となる団体／地域でのお子様に関わる、福祉活動を目的とする民間団体で、4名以上のメンバーが中心となって活動するグループ。法人格の有無は問いません。
- 助成の対象となる活動／「地域における子育てに関わるボランティア活動」
- 助成の額／総額3300万円。1件あたり上限は30万円。
- 助成の期間／平成19年4月～平成20年3月
- 応募方法／申込用紙に記入し、添付書類と共に郵送。用紙は下記に請求するか、ホームページからダウンロード。
- 申込・問い合わせ先／(財)キリン福祉財団事務局 104-8288 東京都中央区新川2-10-1  
Tel.03-5540-3522 Fax.03-5540-3525  
ホームページ <http://www.kirin.co.jp/foundation>

## (財)ポーラ美術振興財団各種助成

- 受付期間／10月1日(月)～11月12日(月)消印有効。ただし、11月19日(月)までに必着のこと。
- 助成の対象／1、若手芸術家の在在外研修。2、美術館職員の調査研究。3、美術に関する国際交流…A・海外美術展、B・国内開催の国際会議
- 助成対象事業の期間／平成20年4月1日～平成21年3月31日
- 助成の額／1、若手芸術家の在在外研修…1名あたり12ヶ月で340万円以内、18名程度。2、美術館職員の調査研究…1件あたり200万円以内、12件程度。3、美術に関する国際交流…1件あたり200万円以内、12件程度。
- 応募方法／A4サイズが入る返信用封筒(140円切手を添付)に返信先と希望する対象分野を明記し、下記まで申請書を申込むか、ホームページからダウンロード。申請用紙は必ず郵送。
- 問い合わせ先／(財)ポーラ美術振興財団 141-8523 東京都品川区西五反田2-2-3 Tel.03-3494-8237(代)  
E-mail info@pola-art-foundation.jp  
ホームページ <http://www.pola-art-foundation.jp/index.html>

## 平成20年度分年賀寄附金配分による助成

- 受付期間／10月1日(月)～11月30日(金)
- 助成の対象となる団体／(1)社会福祉法人(2)更生保護法人(3)民法34条による社団法人・財団法人(4)特定非営利活動(NPO)法人。以上の法人による以下の事業に助成を行います。(1)活動(一般プログラムあるいはチャレンジプログラム)、(2)施設改修、(3)機器購入、(4)車両購入。
- 助成の対象となる活動／(1)社会福祉の増進を目的とする事業(2)風水害、震災等非常災害による被災者の救助又はこれらの災害の予防を行う事業(3)がん、結核、小児まひその他特殊な疾病の学術的研究、治療又は予防を行う事業(4)原子爆弾の被爆者に対する治療その他の援助を行う事業(5)交通事故の発生若しくは水難に際しての人命の応急的な救助又は交通事故の発生若しくは水難の防止を行う事業(6)文化財の保護を行う事業(7)青少年の健全な育成のための社会教育を行う事業(8)健康の保持増進を図るためにするスポーツの振興のための事業(9)開発途上にある海外の地域からの留学生又は研修生の援助を行う事業(10)地球環境の保全(本邦と本邦以外の地域にまたがって広範かつ大規模に生ずる環境の変化に係る環境の保全をいう。)を図るために行う事業
- 対象事業の期間／チャレンジプログラムのみ4年までの連続配分受給が可能。その他は連続年配分受給はできません。
- 助成の額／一般活動は申請額50～500万円。チャレンジプログラムは50万円まで。
- 応募方法／申請書類などは下記ホームページからダウンロード。申請時には県知事の意見書を添付してください。
- 問い合わせ先／日本郵政公社 郵便事業総本部 年賀寄附金事務局 100-8798 東京都千代田区霞が関1-3-2 Tel.03-3504-4401 Fax.03-3580-5399  
ホームページ <http://www.post.japanpost.jp/kifu/>  
(受付時間:土日祝日を除く、10:00～12:00および13:00～17:00)

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858  
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

## 助成金 ニュース

### (財)国際コミュニケーション基金

- 受付期間／10月1日(月)～10月19日(金)必着
- 【1、調査研究助成】
- 助成の対象となる活動／国際分野を主軸とし、また、国内も含めた情報通信の普及・発展、グローバル化に寄与する調査、研究(法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野あるいは各分野にまたがるもの)。ただし、通信事業者等の本来業務に該当するものは対象外。なお、助成・援助の申込者は、個人の場合は調査研究者本人、グループの場合は代表者。
- 対象事業の期間／調査研究が平成20年4月以降に開始され、平成23年3月までに終了のもの。
- 助成の額／1件あたり300万円まで。10件程度。
- 【2、国際会議開催助成】
- 助成の対象となる活動／情報通信の普及・発展に寄与する国際会議。
- 対象事業の期間／平成20年4月～平成21年9月
- 助成の額／1件あたり100万円まで。10件程度。
- 【3、社会的・文化的諸活動助成】
- 助成の対象となる活動／情報化社会の動向に即し、情報通信を通じて社会や教育等に貢献する各種の非営利団体(NPO)・非政府組織(NGO)の活動、「草の根」活動。地域社会の国際化(特にアジア太平洋地域)につながる各種の活動、情報通信を通じて社会に貢献する各種の文化事業、情報通信の普及・発展あるいは国際間の相互理解促進に寄与する活動や事業など(たとえば、イベント、講演会、ボランティア活動)。
- 対象事業の期間／平成20年4月～平成21年9月
- 助成の額／1件あたり100万円まで。10件程度。
- 応募方法／申込書は下記へ申込むか、ホームページからダウンロード。
- 問い合わせ先／(財)国際コミュニケーション基金 108-0075 東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー Tel.03-6716-1181 Fax.03-6716-1186 E-mail info@icf.or.jp ホームページ <http://www.icf.or.jp/>

## 【今特集】市民の公益活動をサポートする行政の仕組み 名張市市民活動保険制度



### 【市民活動保険とは】

全国社会福祉協議会が一括して保険会社と契約し、ボランティア活動中の様々な事故によるケガや賠償責任を補償する「ボランティア活動保険」はよく知られています。

名張市市民活動保険制度は、名張市民が安心して公益活動を行うために設けられた制度で、市が保険会社と契約を結び、保険料は全額市が負担します。

市民活動保険は、傷害保険と賠償責任保険で構成され、活動団体等の関係する室の窓口に事前に登録しておくことで、事故の際に保険金を請求し、受け取ることができます。

### 【市民活動保険の対象となる活動】

保険対象となる活動は、公益的な活動であること、活動が継続的、計画的に行われていること、無報酬で行っていること（交通費など実費支給は無報酬とみなします）、活動拠点が名張市内にあること、の4点に定義され、政治や宗教および営利を目的とした活動は保険の対象外となります。

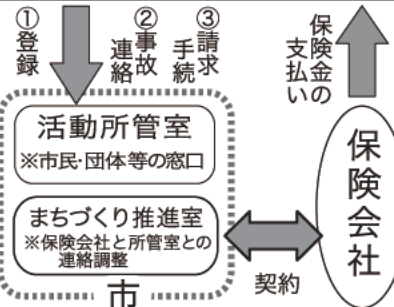
### 【特徴】

区や自治会の地域社会活動を始め、社会教育、社会体育、社会福祉、青少年健全育成など多岐にわたる市民活動をカバーします。

市民活動保険は、市民活動の活発化に向けた環境整備の取り組みの一つです。

### 名張市市民活動保険制度

#### 市民・団体（被保険者）



問い合わせ：名張市生活環境部まちづくり推進室

〒518-0492 三重県名張市鴻之台1番町1番地

TEL 0595-63-7484 FAX 0595-64-2560

E-mail machi@city.nabari.mie.jp

URL : <http://www.city.nabari.mie.jp/contents/shiminhoken/index.html>

## 【中間支援】三重県の中間支援センターの 目指すべきあり方研究会

平成19年度NPOからの協働事業提案募集の研究テーマとして選定された「三重県の中間支援センターの目指すべきあり方」は、8月に研究会を設置して、現在検討を行っています。

メンバーはNPO、行政合わせて15名で、地域市民活動センタースタッフなど8名の研究員と市民活動支援に関わる行政・団体職員がオブザーバーやアドバイザーとして関わっています。

この研究会で、「市民がいきいきと活動する社会の実現」のために、今後指定管理者へと移行する予定の「みえ県民交流センター」に期待する役割は何か、担える機能は何かを考えていきます。

9月10日に開催された第3回研究会では、傍聴を含め総勢18名で、今後の研究の進め方、三重県のNPO施策の現状

などを確認しつつ、これからのみえ県民交流センターについて、ビジョンづくりのため、全員で目的を共有しました。



問い合わせ：三重県生活部NPO室

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津3階  
TEL 059-222-5981 FAX 059-222-5971

E-mail seiknpo@pref.mie.jp

URL : <http://www1.mienpo.net/npot/>

## 【地域情報】伊賀市市民活動支援センター 2007.9.3～市の中心に移転!

平成17年4月に住民自治活動やNPO、ボランティア活動を支援する拠点として阿山支所西隣に設置された伊賀市市民活動支援センターが、19年9月3日より伊賀市の中央部に位置するゆめぼりすセンター内に移転しました。より多くの方々のご利用をお待ちしています!

【開館時間】午前9時から午後5時まで

※午後5時以降の利用は、前日までに予約が必要です。

【休館日】毎週日曜日、年末年始（臨時休館あり）

市民交流の場としての「交流スペース」と資料等の作成のための「作業室」があり、コピー機、FAX、パソコン、保管ロッカー、メールボックス、印刷機、裁断機、紙折機、作業デスクが揃っています。情報掲示スペースや私書箱機能も利用できます。



伊賀市市民活動支援センター

〒518-0131 三重県伊賀市ゆめが丘1丁目1番地-4  
ゆめぼりすセンター内

TEL 0595-22-1511 FAX 0595-22-0317 E-mail igasksc@ict.ne.jp

URL : <http://blog.goo.ne.jp/igasksc>

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。視覚にハンディを持ちながらも、自ら盲導犬など補助犬の理解を広める活動を行っている多賀輝宏さんが紹介してくれたのは、鈴鹿市の井上苑枝さん。音訳ボランティアとして、約30年のキャリアの持ち主です。

**音訳ボランティア歴 約30年**

……ボランティアを始めたのは？

音訳のボランティアを始めたのは娘が生まれてからです。28、9年前でしょうか。その数年前から活動を開始していた音訳グループ「鈴の音(すずのね)」に参加しました。鈴鹿市社会福祉協議会もできたばかりの頃で、ボランティアグループも鈴の音を合わせて3団体ぐらいしかありませんでした。

……元々、朗読はお好きだったのですか？

小学6年生の時に、お話を暗記してみんなの前で話した記憶があります。私は元々、江戸っ子で、こちらに越して来たばかりで標準語をつかっていたから、担任の先生から指名されたのでしょうか。それに小学校に入った頃、毎日、父の前で国語の本を読まされました。合格点をもらえないと何度も読み直しなくてははいけなくて、一発合格できるように頑張りました。

……今まで音読したなかで、印象に残っている本はありますか？  
梅原猛の「神々の流竄(るざん)」。

依頼があって音訳したのですが、完成するまでになかなかかりました。もちろん、依頼された方には「遅くなる」とお断りを入れました。古事記と日本書紀を比較した本でしたから、瓊々杵尊(ににぎのみこと)など、昔の神々や土地の名前などの読み方を調べるだけで数ヶ月もかかりました。神々の時代、日本語は音に文字をあてていましたから、瓊々杵尊にしても違う字があてられていたりしてね。インターネットもありませんでしたし、時には国会図書館に問いあわせたこともあります。完成後、同じ作者の「聖徳太子」全5巻を読んで欲しいという依頼がありましたが、取りかかれば10年はかかると思いましたので、いろいろ考えた末にお断りしました。聞きたいと思っているリスナーの方には気の毒だと思いましたが、こういった難しい本や官能小説などは、ニーズはありますけど音訳しにくいですね。

……鈴の音に入ってから30年。変化はありましたか？

私が入った時は9人ほどで活動していましたが、今は30人ほどに増えました。

……メンバーが増えた理由は？

音訳ボランティア養成の基礎講座を始めたことでしょうか。私が入会してから数年、ゆるやかに活動していましたが、家庭の事情などでメンバーが減り、増員が必要になりました。そこで講座を開いて、勉強してもらった人たちにグループに入ってもらおうと考えました。

……音訳を指導する方法を教えてください。講座があるのですか？

その当時はそのような研修は全くありませんでした。いろいろな朗読や音訳の講座を自分で受けて、その中で先生たちの指導法を覚えていきました。指導法の勉強に3年ぐらいかかったでしょうか。名古屋や大阪、東京まで講座を受けに行きました。時には初心者フリをしたりね(笑)。少しでも進んだ方法を勉強している講座があると聞けば、どこへでも教えてもらいに行きました。とにかく知識や技術を吸収したいという一心でした。

……音訳講座を始めたのは？

20年前に鈴鹿で始めました。さらにこの活動を知った方から「指導して欲しい」という問い合わせが来て、今は菟野町や楠町、員弁や大安でも月1〜2回、講座を開いています。授業数は場所によって違いますが、1年間で10〜12回というコースです。発声、発音、腹式呼吸などを体験していただいた後、少しずつ文章を読んでもらいます。それも学校で習った読み方ではなく、耳で聞いて、文章の内容がわかる読み方です。各町の広報を読んでもらったりして、最終的にはちょっとした文章が読めるレベルにまで育てて行きます。鈴鹿の場合は授業数が少し多いので、実際に録音機器を操作してもらい、録音するところまで体験します。

……講座に取りかかる時、気をつけていることは？

受講生はもちろんですが、講座を主催する社会福祉協議会などの担当者にも最初にきちんと、私の目的はボランティアを増やすことだとお話します。講座を受けた方にはボランティアとして活動していただくつもりです。趣味や朗読にちょっと興味があるという程度の取り組みならお断りします。なかには思い違いをされて来る方もいますよ。音訳ではなく、朗読と言うと派手で華やかに見えるので、憧れる方もいるようです。普通の朗読は自分が楽しむものですが、音訳は視覚障害者を対象とした技術ボランティアですから、受講してもらえば、もう技術者の世界に足を入れかけているも同然です。

……何人ぐらい受講するのですか？

1クラス10〜20人ぐらいでしょうか。

……全員が音訳ボランティアになるのですか？

音訳の活動は地味なこつこつとした作業が多く、向いてないと思われる方や、活動時間が合わない方もいますから、受講生全員がボランティアになるということはありません。鈴鹿は毎年20〜25人が受講しますから、その人たちが全員入ってくれていたら今頃、何百人と会員がいますよ(笑)。それが30人前後でおさまっているのは、引越や家庭の事情などで、ボランティアを続けられない方が出てくるからです。でも、せつかく声を発する技術を体験したのだから、音訳ボランティアはできなくても、学んだことを利用して、他に自分のできるボランティアをしてくださいとお話はしますね。

……音訳ボランティアのやりがい？

テレビやラジオの情報は一般的な情報ですが、私たちが読む広報などはその地域に必要な生活情報。それを視覚障害者の方にお届けできること、自分の声がお役に立っているのだということに喜びを感じます。また、ボランティアのやりがいとは別に、音訳は自分のスキルアップというやりがいもありますね。漢字の読み方一つにしても、知ること覚えるべきことはたくさんあります。自分がそれを知って、理解できないことには言葉でもお伝えできません。音訳を始めてから国語的な力がついたと思います。



鈴の音  
三重デイジーの会

井上苑枝 さんに 聞く

## 音訳はアナログからデジタルへ

……長く活動していると音訳の世界の変化も感じますか？

ボランティアの分野の中でも視覚障害者への情報提供は、戦後一番進んだ分野だそうです。一つはカセットテープが開発されて、安易に手に入るようになったことが大きいですね。私は活動当初からカセットデッキを使っていましたが、当時はまだオープンリールテープで録音している方もいました。今は行政なども視覚障害者への情報提供を福祉の仕事として認めてきて、委託事業や機材の貸与などをしてくれるようになったのは良かったですね。最初の頃は援助などありませんでしたから、録音機材なども自費で買いましたよ。私が最初買ったカセットデッキは現在の物に比べて機能も劣っていましたが10数万円もしました。最近はカセットからCD、アナログからデジタルへの移行が進んでいます。実は私、デジタル図書を製作する三重デイジーの会の会長でもあります。

## 仲間をたくさん作れば、その活動量は10倍、20倍…になりますからね。

……デイジーとは？

視覚障害者のためのCD録音図書ソフトのことです。このソフトをパソコンに入れて音声編集すると文章を各章ごとに分割したり、ページにチェックを入れたりすることができます。完成した音声はCDに焼き、プレクストークという専用の読みとり機で聞いてもらえると、章の検索や読みたいページの頭出しが簡単にできるのです。

……カセットテープの場合は、途中に聞きたい場所があると探すのが大変ですが、これだと拾い読みもできますね。

連続して聞く小説などはカセットテープでも不便はないと思いますが、調べ物をしたり、広報の中から自分に必要な情報だけを聞いたりする時には便利だと思います。プレクストークは定価ですと8万円くらいしますが、自立支援法が施行される前は割引などの制度があり、安価で購入できるということを説明して、鈴鹿の視覚障害者の方にはずいぶん買っていただきました。今でも収入が少ない方などはお安く手に入ります。

……移行は進んでいますか？

高齢の方は使い慣れたカセットテープがいいとおっしゃってますし、まだ数割といった程度です。でも、一年ごとに大幅が増えてきていますよ。使い方さえわかれば、こちらの方が便利ですし、パソコンで聞かれる方も増えましたから。若い方は、ipodなどのデジタルレコーダーでも聞いているようです。三重はデイジーに取り組むのが遅かったのですが、2010年には全国的にカセットテープから、デジタルデータに統一しようという動きがあり、三重県視覚障害者支援センターも力を入れてくれています。

……三重デイジーの会の役割はデジタル図書の普及ですか？

デジタル編集のできる音訳者育成も行っています。音訳者も使い慣れた機械の方がいいという方がいますが、近い将来カセットデッキが無くなる方向ですし、音訳者がデジタルに移行できないと、視覚障害の方たちへ提供できる物も遅れてしまいます。視覚障害の方に新しい方法をお伝えしていくことも、私たちの務めでしょう。

……井上さんがデジタル編集を指導するのですか？

音訳者でパソコンがさわられる人が他にいなかったの(笑)。1年ぐらいかけて編集ソフトの使い方を一生懸命覚えました。5年ほど前か

ら編集基礎講習を行っていて、最初は名古屋から先生を招いていましたが、今は私や、編集を覚えた方が講師をしています。現在、パソコン編集に関わってくださる方は県内で40名ぐらいに増えました。毎年講習を行っていますから、少しずつ増やして、その方たちが地域の核となって音訳グループの中で広めていただきたいと思っています。

……音訳ボランティア自体にしても、デジタル編集者にしても“増やす”ということに意識的ですね。

自分が朗読をしたくて始めた活動ですけど、最近は指導することが忙しくて自分ではあまり読めなくなりましたね(笑)。でも、私一人ができる活動量は限られているでしょう。それが、仲間をたくさん作れば、その活動量は10倍、20倍…になりますからね。

## 自然に福祉や町づくりを考えるように…

……その他の活動は？

鈴鹿市ボランティア連絡協議会(以下、ボラ連と略)の副会長と、ユニバーサルデザインを進める「ハートフル・アクセス」の事務局、お話し「えくぼ」という読み聞かせの会の代表もしています。長いことボラ連の会長を務めてきましたが、今は副会長です。現在、鈴鹿の会長は任期が2年。会長が代わると前後の事情がわからないことがあるので、その辺をフォローしています。

……なぜ会長を続けず、副会長に？

同じ人があまり前に出ていても仕方がないかなと。それに今はボランティアの事情もいろいろ変わってきていますから、新しい人に会長をしてもらった方がいいですね。

……ハートフル・アクセスに関わった理由は？

車椅子利用者だった森川さんが発起人で、協力して欲しいという依頼がありました。県のユニバーサルデザインアドバイザーという資格ができたばかりのことで、その資格を取って活動していこうと立ち上げた矢先に森川さんが亡くなられて。その遺志を繋げるという意味で事務局を担当しています。

……活動がどんどん広がっていきますね。

ボラ連の会長を長くしていると、どうしても福祉とかまちづくりを考えるようになります。そういえば、最初に聴覚障害の方にお会いした時は、戸惑いましたね。接し方が視覚障害の方とは正反対。でも、身振り手振りで対応しているうちに、コミュニケーションを取りたいという想いさえあれば、伝わっていくものだなと思いました。ユニバーサルデザインにしても、自分が住む町が障害者にも、子どもや高齢者にも住みやすい町になればいいなあと、ごく自然に思いましたね。

……活動が幅広く大変では？

いろいろありますが、私の基本はやっぱり音訳。代表とか指導とかのお世話係りは他の方をお願いして、デイジー編集とパソコン録音でじっくり音訳をしていきたいと思っています。

……約30年続けてきた原動力は？

やっぱり、声に出して読むのが好きなんです。特にストーリーのあるものだと、自分の中でイメージして、理解して読まないといけませんから。一生懸命読んだものがデータとして残って、しかも誰かが聞いてくださるわけでしょう。とても嬉しいですね。

井上苑枝さんはこの人を **紹介** します。

松野 博さん

四日市市三泗地区を中心に、『防災一座』として、市民に向けたユニークな防災活動をしている松野博さんをご紹介します。



菟野町社会福祉協議会が主催している音訳講座で、講師を担当する井上さん。

お  
ね  
が  
い

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp 転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。